議事概要記録

開催日時	令和 7 年 8 月 23 日（土）15:00～17:00	開催場所	済生会和歌山病院 7 階多目的ホール
会議種別	令和 7 年度　第 3 回理事会	議長	栗林 伴有
		書記	久保 光史
出 席 者 <敬称略>	参加：田中 規仁、神藤 洋次、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史、 山本 須美子、森下 陽子、中尾 光孝、葛原 和紀、橋本 安貴子、 稲葉 芙佐、小山 明日美、松下 裕、関根 敏勝、 竹家 正人、亀井 聡、竹中 正人、藤谷 泰明 計 18 名		
欠 席 者 <敬称略>	大前 嘉良、山中 拓哉、秋田 豊和	ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	
次　第			
議事概要	報告事項 1.　会長報告 2.　日臨技報告 3.　常務理事会報告 4.　事務局報告 5.　学術部報告 6.　経理部報告 7.　各種委員会報告 ①　公益事業活動 ②　定款・渉外 ③　災害対策委員会 ④　精度管理 ⑤　会誌編集 ⑥　ホームページ ⑦　会報 ⑧　月例行事予定表 8.　第 44 回和歌山県医学検査学会 9.　その他 連盟について 審議事項		

決議事項 及び 継続事項	報告事項 冒頭、田中会長より秋田理事から自身の進退に関する報告があった旨の説明があった。 **1.　会長報告** 和臨技・日臨技・渉外関連について以下のとおり報告あり。 **和臨技・日臨技関連** 6月7日　令和7年度　和臨技総会　済生会和歌山病院 6月21-22日 学術部一泊合同研修会　亀の井ホテル 紀伊田辺 6月28日　令和7年度　日臨技総会 ステーションコンファレンス川崎 7月6日　臨地実習指導者講習会（中四国支部）ファシリテイター Web 7月26日　近畿支部幹事会　大臨技事務所 **渉外関連** 7月29日 第30回和歌山県病院協会学術大会プログラム委員会 プラザホープ3階 (予)9月1日 メディカル・スタッフ団体会長(理事長)と病院協会会長との懇談会 ビッグ愛 (予)9月10日 一般社団法人和歌山県調理師協会 味村会長旭日雙光章受章記念式典 アバローム紀の国 (予)10月3日 第65回全国国保地域医療学会　和歌山城ホール **その他** 5月27日 第15回社会保障勉強会（日技連） 朝8時開会：ホテルニューオータニ「芙蓉の間」 6月16日 日本臨床検査技師連盟常任執行委員会 6月25日 第3回日本臨床検査技師連盟執行委員会 7月28日 日本臨床検査技師連盟常任執行委員会 8月18日 第3回日本臨床検査技師連盟執行委員会 **●新任理事の担当について** 松下理事　→　災害対策委員会 関根理事　→　検査と健康展 亀井理事　→　コミュニケーション事業 竹家理事　→　会報 以上について指示あり。

	各自既存担当者と相談の上、事業運営に対応頂く旨を説明。 **2.　日臨技報告** **栗林副会長/日臨技理事より報告** 7 月 26 日　　理事会（第 2 回）　　Web ●JAMT アプリ（仮称）の運用について JAMT アプリ（仮称）の導入について、令和 7 年 11 月の運用開始に向けて、開発を進めることとした。JAMT アプリ（仮称）の導入の背景について、JAMT マガジンは広報として全会員に送付している唯一の紙媒体であるが、日臨技の令和 5 年度会員意識調査において、「JAMT マガジンを読んでいますか」の質問に対して、「あまり読まない（26.1%）」と「ほぼ読まない（30.0%）」の回答が 56%を超え、日臨技から会員への訴求力の向上が課題となっている。 一方、「令和 5 年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」によると、調査対象の全年代におけるスマートフォンの利用率は、97.5%となり、ほぼ 100%となっていて、また、インターネットの利用においても、パソコンからスマートフォンへシフトされている状況となっている。 当会においては、令和 8 年 1 月より「医学検査」、「JAMT マガジン」のデジタルブック化をはじめ、紙媒体からデジタル媒体への移行を推進している。 よって、JAMT アプリ（仮称）を導入し、より直接的な会員へのアプローチ、訴求力の向上を可能とするとともに、当会のデジタル化推進との親和性を高めていくものである。 ●ポケットプログラム（日本医学検査学会）のデジタルブック化 「医学検査」のデジタルブック化に伴い、2026 年以降の日本医学検査学会のポケットプログラム（ポケプロ）もデジタルブック化する。 ・デジタルブック化されたポケプロを日本医学検査学会のホームページに掲載する。 ・学会場では、現状と同様にポケプロ冊子を配布する。 ●第 77 回日本医学検査学会 会場：国立京都国際会館 開催年月日：令和 10 年 5 月 13 日（土）～ 14 日（日）　（ 2 ）日間

	学会長：今川 昇（京都工場保健会） ●日臨技精度管理調査総合報告会　今後の開催形態について 日臨技臨床検査精度管理調査について令和6年度では4,537施設より申込があり、報告会の申込がまだまだ少ないのが現状である。原因として現地のみ開催であることにより地方の会員が来られないこと、土曜日に業務をしている会員が多数いることが考えられる。より多くの会員に日臨技精度管理調査総合報告会参加していただくため品質保証施設認証にて使用する動画（現地にて開催した報告会を収録したもの）を用い、現地とオンデマンド双方開催したい。また、今後は上記費用を抑えるためにオンデマンドのみの開催に移行したいと考えている。 ●全国学会並びに支部学会の抄録掲載料の取り扱いについて 臨床検査技師の免許を所持していて日臨技会員でない者には従来どおり抄録掲載料を徴収し、その他関連医療職種の者は無料とすることについて共有した。 ●タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会開催方法・開催マニュアルの変更 【令和7年度】 ○地臨技での開催条件 申請時 基礎研修履修済数 ＞50名 かつ 受講中 ＞60名を目安とし、他都道府県の開放を必須 とする。 ○目安の基準 事前参加申込締切 ① 1か月前・・・40人以上申込があれば②に進む 40人未満であれば延期 or 中止 ② 2週間前：50名以上を目指していただく。 ※①をクリアすれば開催可。但し、損益分岐点である50名を目指していただく。 【令和8年度】

①支部単位での開催とする。（交通の便を考慮して、受け入れる地臨技を考慮する。開催に向けては支部理事で連携を図る）

②基礎研修履修済数 ＞50 名 かつ 受講中 ＞60 名を目安として、他都道府県の開催を必須とする。（大都市圏に対応）

【運営マニュアルの変更】

	変更前	変更後
申請時条件	他県受け入れ任意	・基礎研修履修済数＞50 名 かつ　受講中　＞60 名 ・他県開放を入れ必須
講習会開催申請	2 か月前	3 か月前
事前参加申し込み締め切り	2 週間～10 日前	1 か月前
最小催行人数	参加申し込み締め切り時 50 名	参加申し込み締め切り時 50 名

令和 7 年 8月1日以降のタスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会申請時より適応する。

3.　常務理事会報告
事務局長より報告

①　定款・細則について
定款内、理事役員の選挙に関する項、会議開催の項などについて今後見直しが必要。他の技師会定款なども参考にした上で、司法書士にも確認を行うことで一致。
第 1 回理事会で報告した、登記住所の変更について、今年度登記手続きと共に行うことで一致。変更施行日は本年度総会日程、令和 7 年 6 月 7 日。

②　交通費請求書について
あらためて、交通費請求書の運用及び様式の決定を行うことで一致。
また各事業運営に係る細則についても、理事・学術班長班員への周知を行う。

③　勉強会電子決済運用について
本年度合同研修会において Peatix を用いた試験運用を実施。
Peatix の手数料はチケットに対して 4.9%+99 円。
運用自体に大きな問題はなかったが、この方法を各学術部門に導入した場合の入金口座、入金確認等が煩雑になることが予測される。
運用、確認方法、担当者等について議論が必要である。

④　商標登録について
現状、地臨技で商標登録を行っている情報はなし。
引き続き情報があれば共有することで一致。
万一、和臨技で必要な登録とすれば以下が考えられる。
・一般社団法人　和歌山県臨床検査技師会
・和臨技
・WAMT
・ロゴマーク

⑤　理事会等スケジュール
今後のスケジュールについて確認。
理事会についても、対面だけでなく Web 開催を併用することで一致。
特に総会前や予算審議などではない理事会については Web 開催で良いか。

4.　事務局報告

5 月 23 日　　生理機能検査班研修会機器借用協力依頼について
和臨技

5 月 26 日　　令和 7 年度　第 38 回和歌山県臨床検査技師会　臨床検査精度管理調査　案内発番
和臨技

6 月 7 日　　令和 7 年度　和歌山県臨床検査技師会定時総会
和臨技

6 月 13 日　　令和 7 年度 全国「検査と健康展」機器借用協力依頼について
和臨技

7 月 11 日　　令和 7 年度　院内感染対策講習会受講者推薦について
和歌山県

7 月 15 日　　令和 7 年度　臨床検査精度管理調査における参考値提供依頼　趣意書の発行について
血液分野

7 月 22 日　　第 30 回和歌山県病院協会学術大会ご協力のお願い
和歌山県病院協会

7 月 22 日　　メディカル・スタッフ団体会長と病院協会会長との懇談会と懇親会の開催について
和歌山県病院協会

7 月 23 日　　第 75 回日本医学検査学会　ホームページの開設について
日臨技

7 月 23 日　　第 75 回日本医学検査学会・IFBLS2026(第 36 回世界医学検査学会)　広報協力について
第 75 回日本医学検査学会

	7月26日　　2025年度「日本肝臓学会市民公開講座」後援名義について 日本肝臓学会　市民公開講座　和歌山県世話人 7月29日　　令和7年度　和歌山県臨床検査技師会　登記登録完了 和臨技 8月5日　　令和7年度保健衛生（医事）功労者に対する知事表彰に係る候補者の推薦について 和歌山県 8月6日　　令和7年度　和歌山県災害医療従事者研修の受講決定通知について 和歌山県 8月7日　　第53巻「会誌和臨技」　投稿募集のお知らせ　案内発番 和臨技 8月7日　　令和7年度　会員学術活動調査のお願い　案内発番 和臨技 8月8日　　令和7年度　院内感染対策講習会受講者決定通知について 和歌山県 8月13日　　日本臨床検査技師連盟　青年部「第3回オンラインイベント」について 日技連 8月13日　　日本臨床検査技師連盟　8月定例勉強会について 日技連 8月14日　　検体採取等に関する厚生労働省指定講習会（大阪府）開催について 日臨技 8月15日　　2025年 日臨技「認知症ワーキンググループ」認知症予防啓発活動について 日臨技 以上について報告。 **その他** **・登記手続き及び住所変更について** 7月29日に本年度登記完了。併せて登記住所についても変更完了の旨を報告。 変更前住所：和歌山市手平二丁目1番2号 変更後住所：和歌山市紀三井寺811番地1 （和歌山県立医科大学附属病院） **・表彰審査報告** 令和7年度保健衛生（医事）功労者に対する知事表彰に係る候補者の推薦について

→本年度の推薦者として、<u>山本須美子理事・森下陽子理事</u>に決定した旨を報告、承認を得た。

・理事会のWeb開催、平日開催について

理事会について、対面だけでなく Web 開催を併用することで一致。特に総会前や予算審議などではない理事会については Web 開催にて調整する。
また開催日についても、現状の土曜日開催ではなく、平日業後の 18 時などから 2 時間程度の開催で調整することで一致。

・次回 9 月の理事会について

先日、9 月の理事会 Web 開催について調整を行ったが、大きな事業開催もないため、9 月開催予定の理事会は延期とすることで一致。
次回は 11 月開催で改めて日程調整を行う。

5.　学術部報告

大前学術部長欠席の為、久保事務局長より代理報告

・日臨技　生涯教育研修助成金申請　2025/8/15 現在(和歌山県)

令和7年度第1回血液検査班研修会	2025/4/26	現地開催	和歌山県立医科大学 地域医療支援センター（現地開催のみ）	専門	検体検査	22
令和7年度 第1回輸血検査班研修会	2025/6/12	WEB開催	WEB	専門	検体検査	19
第1回微生物班研修会	2025/6/14	現地+WEB開催	済生会和歌山病院 7階 講堂+WEB開催のハイブリッド開催	専門	検体検査	27
令和7年度　第1回病理細胞班研修会	2025/6/18	WEB開催	WEB	専門	検体検査	42
令和7年度 第1回生理検査班研修会	2025/7/24	WEB開催	WEB	専門	生体検査	42

日臨技生涯教育推進研修会助成
　現在の助成金合計　223,000 円

〇第 25 回学術部一泊合同研修会について（別資料あり）

◇令和 6 年 6 月 21 日（土）～22 日（日）に亀の井ホテル 紀伊田辺において開催。参加者は参加者（講師 3 名、実務委員 4 名、企業参加を含め）54 名（会員 45 名）。

◇症例検討　血液検査部門と生理機能検査部門から出題。
2 日目にグループワークとして臨床検査×わくわくプロジェクト『臨床検査技師キャリアはわくわくが一杯』を主宰されている医療法人社団永生会永生総合研究所所長の神戸 翼先生を講師として招き開催。

グループワークで参加者がキャリアデザインについて考える機会となり、自分自身の将来について考えるとともに参加者間で共有し多く情報を得ることが出来た。

◇アンケート調査を実施し結果は別紙の通りでした。
・アンケートの返答には、一部、開催の趣旨と異なった形式となるものもあり。対応できるものに関しては、今後の開催への参考にさせていただく。

6.　経理部報告
丸澤経理部長より報告

●和臨技経費等支払申請書について
改めて、和臨技経費等申請書を作成（個人用・連盟用）、運用開始とする。（別紙参照）
まずは理事会の交通費等について活用して運用の確認を行い、最終学術部事業についても、この様式で運用するように説明を進める予定で一致。

改めて会計報告の際の注意点として、**レシート等はA4コピー用紙に、並べて貼付のうえ提出**することを周知。

7.　各種委員会報告

①　公益事業活動
橋本理事より令和7年度検査と健康展の会場について
開催日：11月15日（土）
パームシティ内の会場について調整中であるが、人通りの多い空き店舗については、入店の予定ありの為、当初予定の3階のジストホール決定する見込みとの報告。
当日使用の超音波検査装置及び光学顕微鏡について賛助会員へ趣意書を発行。
その結果、
超音波検査装置　キャノンメディカルシステムズ株式会社
光学顕微鏡　株式会社大黒
より協力申込あり。

当日の実務委員については14名の予定で調整中。

②　定款・渉外
神藤副会長より報告
理事選挙に係わる項などについて見直しを行う予定。
素案等が揃い次第理事会へ提出の予定。

③　災害対策委員会
災害フォーラム、ボランティア活動研修について、開催準備を進めることで一致。

④ 精度管理委員会
中尾理事より報告

●R7 年度事業進捗報告

R7スケジュール	
日程	全体運営
4/1(火)	R7サーベイ内容確定
5/16(金)	JAMTQCシステム設計完了
6/3(火)	募集要項HPへ掲載
6/24(火)	申し込み開始
7/10(木)	申し込み期限
8/12(火)	JAMTQCシステム設定全完了
8/17(日)	梱包作業、試料発送
8/18(月)	試料到着(手引書・フォト集JAMTQCシステム公開)
8/18(月)～8/29(金)	調査期間
8/29(金)	各施設からの結果入力期限
9/18(木)	参考基準範囲算出依頼趣意書、発送先一覧を和臨技事務局へ提出(公文書発番依頼)
9/26(金)	参考基準範囲算出用試料発送
10/7(火)	結果一覧(評価含む)、調査願い発行一覧作成、報告期限
10/17(金)～10/23(木)	結果(評価含む)、調査願い発行理事会審議期間
11/4(火)	精度管理調査願い各施設発行+施設別報告書、総括統計JAMTQCシステムUP
11/18(火)	精度管理調査願い回収期限
12/11(木)	報告書提出期限
12/18(木)	報告書編集完了
12/19(木)	査読依頼(理事へ)
12/25(木)	査読締め切り。最終調整開始
1/8(木)	報告書完成
1/14(水)	JAMTQCシステムアップロード公開
1/14(水)	和臨技HPへ報告書アップロード公開
1/31(土)和歌山県医学検査学会前日	精度管理報告会
精度管理報告会終了以後	日臨技へ次年度JAMTQCシステム利用申請。

・7/10(木)申込締め切りを行った。参加施設は 42 施設（R6 は 40 施設）であった。
・手引書提出ならびに JAMTQC システム設定は全ての領域において副学術部長確認も含め完了済み。
・8/17(日)和歌山県立医科大学附属病院　中央検査部をお借りし、試料梱包ならびに発送作業を実施。

⑤ 会誌編集
小山理事より報告
会誌和臨技の投稿募集ならびに会員学術活動調査について会員施設への案内実施について報告。

会誌和臨技の投稿募集締切　令和 7 年 11 月 28 日（金）
会員学術活動調査　令和 8 年 1 月 9 日（金）

⑥ ホームページ
山本理事より報告　特記事項無し

⑦ 会報
葛原理事より報告

会報 No.80 の印刷入稿を完了。完成次第、会員へ発送の予定。
次回の会報では、各学術班の活動について掲載する予定。
新任理事紹介についても掲載の予定。

⑧ 月例行事予定表

稲葉理事より報告

第 75 回日本医学検査学会のポスターが届き次第、会員施設へ発送の予定。

8. 第 44 回和歌山県医学検査学会

小山実行委員長より報告

【概要】

開催予定日時：2026 年 2 月 1 日（日）
会場：紀南文化会館　小ホール
テーマ「技術の継承と発展『臨床検査技師の未来』－Well Being－」

（特別講演）

講演案：「「私が医療人になって教えて貰いたかったこと
～自分が選んだこの道が尊いものと思えるために～」
候補：小谷　敦志 様（近畿大学奈良病院　臨床検査部）
（奈良臨技 副会長）

・現在、広告・展示募集中。一般演題の募集についても 9 月に開始予定。抄録集については 12 月中に作成を目指したい。

【第 44 回和歌山県医学検査学会 実行委員名簿 】

実行委員

学会長　大前　嘉良　紀南病院
実行委員長　小山　明日美 紀南病院
事務局担当　笠松　功　紀南病院
会計担当　西岡　範子　紀南病院
抄録集担当　阿部　真実　紀南病院
広告・展示担当　石丸　倫代
公益財団法人白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院
ランチョン・意見交換会担当
笠原　大知 紀南病院
受付担当 川地　璃奈
独立行政法人 国立病院機構南和歌山医療センター
会場担当 糸口　耕平
独立行政法人 国立病院機構南和歌山医療センター

実務委員

事務局　山本　真衣　紀南病院

事務局　　道上　太一　　紀南病院
抄録集担当　西　謙輔　　紀南病院

ランチョン・意見交換会
稲豊　堅政　紀南病院
青木　美宥　紀南病院
会場担当　寺下　理恵　　紀南病院
会場担当　植村　彩未
独立行政法人 国立病院機構南和歌山医療センター
会場担当　竹内　優真
独立行政法人 国立病院機構南和歌山医療センター
受付担当　藤井　彪馬
独立行政法人 国立病院機構南和歌山医療センター
受付担当　稲田　葵　　医療法人研医会　田辺中央病院

10. その他
連盟について田中会長より報告

審議事項

記録作成	令和７年９月３日	氏名	久保　光史	提出	令和７年９月４日

※　諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可